



★ 歯科用 デジタルレントゲンの安全性 ★

「レントゲン」というと多くの方が心配なさる事は健康への悪影響ではないでしょうか？
レントゲンは放射線の一種なので少し怖いイメージでとらわれがちですが、当院では「デジタルレントゲン」を採用していますので従来のレントゲンに比べて体への負担はごくわずかです。今回は、その安全性についてお話しさせていただきます。



放射能と放射線

放射能

ウランなどの放射性物質から出ている「放射線」を出す能力

放射線

光や紫外線のような物で、人体等を通過する能力のあるもの

レントゲンで使用しているのは「放射能」ではなく「放射線」を使用しています。
放射線は放射能と違い体内に蓄積される事はありません。

デジタルレントゲンの放射線量

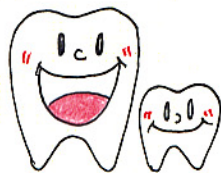
歯科用のデジタルレントゲン撮影1枚あたりの放射線量は私達が自然界で浴びている放射線(太陽光のように空から受けるもの)の1日分程度です。ある地域(中国ヤンド)では日本の約20倍の自然放射線を受けている所もありますが、他の地域に比べて特別健康に問題があるというデータはありません。

*日本の場合1日平均1.5mSvです。



↑パノラマ
1撮影あたり0.04mSv

←デジタル
1撮影あたり
0.016~0.039mSv



当院のデジタルレントゲン装置は、これまでのレントゲン装置に比べて、X線照射量が最大1/10程度と、とても体に優しいレントゲンになっておりますので安心して治療を受けられください。